

校

自分を好きになる

◎坂城中学校教育方針について 第1回参観日、校長講話より（一部抜粋 文責森川）

○坂城町教育スローガン「坂城の子は坂城で育てる」

～坂城の良さに気付き、坂城を愛し、坂城を誇れる元気な子供たち～

これは、町内4校共通のスローガンで坂城町全体、足並みそろえて学校教育に取り組んでいます。

○学校目標「自分を好きになる学校」（めざす学校）

私が坂城中に赴任以来「自分を好きになる学校」づくりをめざして取り組んできました。人はわかった、できた、認められた喜びを味わうことにより、自信を持ち、自分を好きになってきます。日々の授業を充実し、学級での所属感を高めれば、学力向上や不登校生の減少にもつながると考えています。子どもたちも教職員も「自分を好きになる」ことにより、自信を持ち、生き生きと学校生活を送る、そのような学校づくりに取り組んでまいります。



○教育目標「自主・友愛・剛健」（めざす子ども）

本校の教育目標は、開校以来、「自主・友愛・剛健」です。「自主」とは、「主体的に判断し、問題を解決する力」、「友愛」とは、「豊かな人間性」、「剛健」とは、「たくましくやり抜く力」です。

○重点活動

一つ目は、「授業力と学力の向上」です。子どもにわかった、できた喜びを味あわせるために、分かる授業づくりに努めていきます。東京大学の市川伸一先生が提唱する「教えて考えさせる授業」を取り入れ、坂城町全小中学校で足並みをそろえて取り組んでいきます。さらに、一昨年より始めた水曜日の放課後学習は昨年より保護者の皆様の要望にお応えして全学年に対象を広げて取り組みました。今年も同様に全学年対象に実施する計画でいます。

もうひとつ、教育目標の剛健に関わって、学力のみならず体力の向上も大切に考えています。昨年春と秋に行った自力登校月間ですが、安易に家の人に送ってもらおうという意識を改善し、体力向上のきっかけになればと思っています。その期間はよほどのことがない限り車での送迎を控えていただき、子供のたくましい心と体を育てるためご理解とご協力をお願いします。

二つ目は、「豊かな人間関係づくり」です。大切なことは子どもを「勇気づけ」ることだと考えています。勇気づけとはアドラー心理学に基づいた考え方です。子どもと同じ目線に立ち、共感的な態度で、子どもの頑張りに対して「ありがとう」「うれしいよ」「助かったよ」と自分の気持ちを伝えることにより、子どもは自分自身を価値のある存在であることを自覚し、苦難にあっても自分から乗り越えていこうとする力が育っていくそうです。子どものためにという大人目線ではなく、子どもの立場で、子どもの視点に立って子どもを導いていくことも大切にしていこうと考えています。これは学校で取り組むだけでは十分だと考えています。

三つ目の重点活動「家庭・地域と連携した教育」の一番下にもありますが、学校と家庭が共通理解の下、子どもを勇気づけることが大切です。

昨年も配布した「自分を好きになる、コラボレーションプラン」は今年も全家庭に配布します。これは、学校目標である「自分を好きになる」ために、ご家庭で大切にしていきたいことを、まとめたものです。昨年のコラボレーションプランに関するアンケート結果をみても、Fの『ありがとう』『うれしいな』『助かったよ』を口癖にしている家庭は3割と少なく、多くの家庭でできていないという自己評価でした。是非、冷蔵庫など、ご家庭の目に



つくところに貼っていただき、できることからお子さんと約束し、また、担任の先生との懇談会でも扱い、先生と保護者の皆さんが、共通基盤にたち、子どもたちの成長を後押ししていく橋渡しにしてほしいと思います。

また、先ほどのPTA総会で「SNSから子供を守るPTA宣言」が採択されました。これはプランCにかかわるものです。SNSの被害はニュースなどでよく耳にしますが、これは遠い世界の話ではなく、坂中生の問題です。その被害から子供を守るには保護者の方の取り組みが不可欠です。是非、学校と家庭の協力した取り組みをお願いします。

○教職員の働き方改革、PTAの負担軽減、部活改革

新聞報道もされたように、「教職員の働き方改革」も進めていくことが求められています。坂城中でも、この数年「質は落とさず負担は減らすアタリマエの見直し」により取り組んできた様々な改革は、授業を充実させ、子どもと向き合う時間を増やすために大切と考えています。坂城町では、タイムカード、夜間の留守番電話を導入していただきました。

また、PTAの方々の負担を軽減するために、昨年、PTA会費を400円減額し、PTA作業も取りやめました。集金方法についても保護者の皆さんにアンケートを取り、1年生から、旅行費は業者へ、学校集金は学年費のみで口座振替としました。保護者の皆様の負担軽減により、学校とPTAが共通理解の下、手を携えて取り組みたいと思いますので、ご理解ご協力をお願いします。

さらに部活では、一昨年、生徒減により野球部が休部、町のスポーツ少年団として活動してきました。今年は9名以上となり大会に出場できそうです。しかし、部活動として実施することは考えていません。子どものスポーツ活動を学校だけでなく、地域全体で支える体制が将来にわたって途切れのない活動につながっていると思いますので、今後もスポーツ少年団での練習をベースに行っていきます。中体連の大会参加は可能ですので、部活・クラブ問わず応援していきたいと考えています。また、生徒の多様な希望に応えるため、運動部だけでなく、文化部の活動を充実させようと、吹奏楽部以外に、総合文化部として美術班に加え、一昨年技術班、昨年は調理班を新設しました。昨年は調理班がお弁当コンテストで共同通信社賞を受賞しました。選んだ部活動で、個性を伸ばし、できた喜びを味わい、部活動でも自分を好きになってほしいと願っています。

○最後に

今年度末の春休み、2年生の希望者を対象に、アメリカシリコンバレーへの教育視察事業の計画も進んでいます。アメリカ視察を通して大志を育てることを狙いとしています。町からも相当額の補助が出ますので、奮って希望していただきたいと思います。

石野真子の「春ラララ」という歌の一節に「春という字は三人の日と書くのね。私とあなたとそして誰の日」とあります。学校と保護者、そして地域が一体となって子どもを支え、どの子にも春が来ますように、保護者の皆さまには、本年度も、坂城中学校の教育活動にお力添えいただき、「チーム坂中」で教育活動を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

家庭訪問では、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。